

いね

## 管内の出穂盛期は、平年並（8／5頃）の見込み

### 出穂期頃の穗いもち防除の徹底を！

| 8月<br>日 | 上旬                              |   | 中旬  |               | 下旬  |    |    |  |  |  |
|---------|---------------------------------|---|-----|---------------|-----|----|----|--|--|--|
|         | 1                               | 5 | 10  | 15            | 20  | 25 | 30 |  |  |  |
| 生育      | 出穂期                             |   | 傾穂期 |               | 乳熟期 |    |    |  |  |  |
| 水管理     | 湛水管理：カドミウム吸収抑制対策                |   |     | 間断かん水<br>最終落水 |     |    |    |  |  |  |
| 作業      | カメシ防除<br>薬剤防除後1週間以内<br>農道・畦畔草刈り |   |     | カメシ防除         |     |    |    |  |  |  |
|         | 休耕田・法面 草刈り禁止期間                  |   |     |               |     |    |    |  |  |  |

### 1 7月22日現在の生育状況～茎数多く、葉色濃いほ場は草丈長め～

#### 本年は、平年（7月25日）水稻定点調査結果（7月22日）

日頃より3日早く生育調査を実施しました。

7月22日現在の生育は、草丈は平年比93%、茎数平年比121%、葉数平年差-0.4、葉色平年比103%という状況です。

葉耳間長の観察によると、「あきたこまち」の出穂盛期は平年並の8月5日頃と推定されます。

管内的一部ほ場では、葉いもちの発生が散見されます。出穂前後の穗いもち防除を徹底しましょう。

| 品種     | 設置場所    | 田植<br>月日 | 栽植<br>密度<br>株/m <sup>2</sup> | 7月22日    |                        |         |      |
|--------|---------|----------|------------------------------|----------|------------------------|---------|------|
|        |         |          |                              | 草丈<br>cm | 茎数<br>本/m <sup>2</sup> | 葉数<br>葉 | SPAD |
| あきたこまち | A       | 5月16日    | 21.6                         | 70.3     | 628                    | 12.3    | 41.8 |
|        | B       | 5月17日    | 19.2                         | 77.4     | 754                    | 11.7    | 41.6 |
|        | C       | 5月21日    | 20.3                         | 60.1     | 617                    | 11.9    | 39.2 |
|        | D       | 5月24日    | 20.7                         | 64.6     | 575                    | 12.0    | 34.5 |
|        | E       | 5月23日    | 16.5                         | 67.6     | 569                    | 11.8    | 37.3 |
|        | 本年      | 5月20日    | 19.7                         | 68.0     | 629                    | 11.9    | 38.9 |
|        | 平年      | 5月20日    | 21.1                         | 73.2     | 519                    | 12.3    | 37.7 |
|        | 平年比(%±) | 0        | 93%                          | 93%      | 121%                   | -0.4    | 103% |

※平年より3日早い7月22日調査（平年は7月25日）

## 2 水管理～8月25日頃までの湛水管理でカドミウム対策を～

- カドミウム吸収抑制対策として、湛水管理を行います。
- ポイントは、湛水で田面が空気に触れないようにすることで還元状態に保ち、カドミウムの溶出を抑えることです。

## 3 追肥の判断（減数分裂期頃）～出穂しているほ場は追肥を控える～

- 葉色が極端に低下したほ場では、稲体の活力を維持するため、直ちに窒素成分で1～1.5kgの追肥を行います。  
ただし、出穂しているほ場では、食味の低下を招きますので、追肥は控えます。

## 4 病害虫防除～2回防除と草刈りで斑点米カメムシを徹底防除～

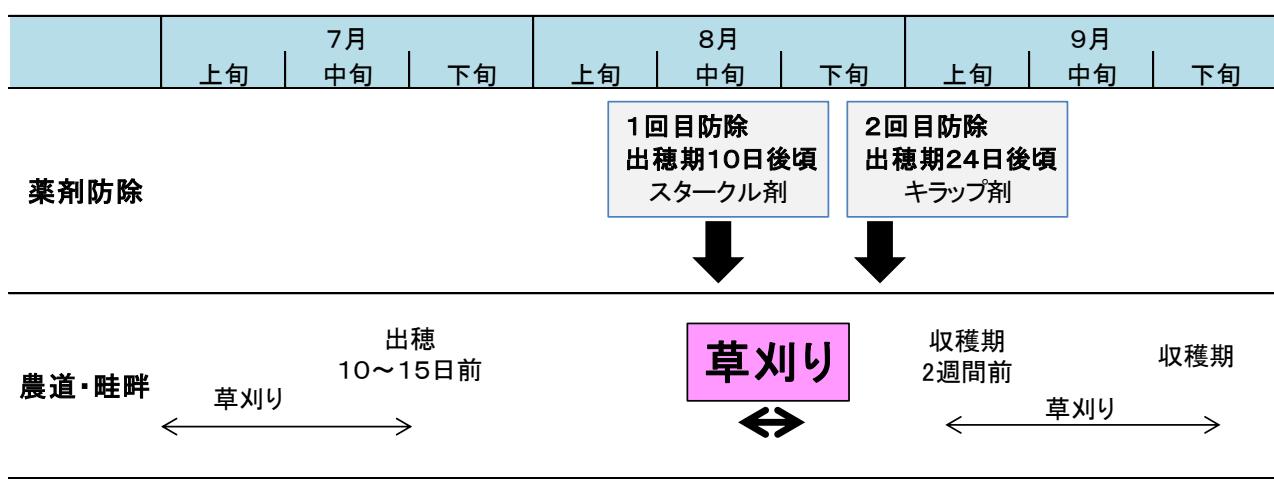
### ①いもち病（穂いもち）

- 葉いもちの発生が確認されるほ場では、出穂7～15日前にコラトップ粒剤5を散布するか、出穂直前と穂揃期に予防剤（ラブサイド剤またはビーム剤）の茎葉散布を行います。

### ②斑点米カメムシ

- 薬剤防除は出穂期10日後頃（スタークル剤）と出穂期24日後頃（キラップ剤）の2回防除を基本とします。
- 農道・畦畔の草刈りは出穂10～15日前を目安に一旦終了し、出穂10日後頃の1回目の薬剤防除の後（1週間以内）に、農道・畦畔の草刈りを1度行います。これにより、散布した薬剤の効果を高め、効率のよい防除ができます。その後は収穫2週間前（9月上旬）まで草刈りを中断してください。

(下図参照)



◎ご質問は、JAかづの営農経済部(23-2497)か鹿角地域振興局農業振興普及課(23-3683)まで